



### 自立を支える産業カウンセリングを

厳しい経済状況の中で日本産業カウンセリング学会に求められるものは何か。これにこたえるべく学会活動の進め方に関する各委員会の方針が出そろいました。これから始まる第14回大会の取り組みを更に豊かなものとするためにも、地に足の着いた委員会活動が欠かせません。研究者として実務家として、どのように世の中のお役にたっていくのか、ご一緒に考えてみませんか。

### 平成21年度 日本産業カウンセリング学会 委員会活動計画

委員会	活動計画	費用見込
総務委員会	・ NPO 法人化のための調査・研究	・ ￥800,000 (印刷費・交通費・相談料・会議費 等)
研修委員会	・ 研修会の実施 (3回) ・ 14回大会研修会の立案計画	・ ￥1,180,000 (会場費・通信費・交通費・会議費 等)
研究委員会	・ シンポジウムの実施 (年4回) ・ 会員へのアンケート調査 ・ 機関誌掲載論文の傾向分析	・ ￥600,000 (交通費・会議費・印刷費 等)
編集委員会	・ 機関誌 12巻 1号・2号の発行	・ ￥1,300,000 (印刷費・通信費 等)
広報委員会	・ 会報 (ニュースレター) の発行 (4回) ・ 会員への情報提供 ・ 学会活動の対外的発信 ・ HP の充実	・ ￥1,300,000 (印刷費・通信費・交通費・会議費 等)
社会活動委員会	・ 講演会・シンポジウムの実施 (2回) ・ 14回大会学会企画シンポジウムの立案企画 ・ 小グループ研究会 / 勉強会の立ち上げ	・ ￥300,000 (交通費・会議費・印刷費 等)
地域活動委員会	・ 東北地区支部設立のための立案企画	・ ￥500,000 (交通費・会議費 等)
SV委員会	・ SV'er 養成講座の実施 ・ 次年度以降 SV'er 養成講座の計画立案	・ ￥600,000 (交通費・会議費 等) ・ SV'er 養成講座費用とは区分する。
倫理委員会	・ 組織倫理・企業倫理、カウンセラー・研究者としての職業倫理に関する情報収集 ・ 当学会に必要な倫理組織の検討 ・ 倫理委員会の役割についての検討	・ ￥180,000 (交通費・会議費 等)
近畿支部	・ 研修会の実施 (2回)	・ ￥190,000 (学会本部補助金)
合 計		￥6,950,000

# 委員会だより

## 研修委員会

委員長 今野 能志

今年度は、クリニカル領域ではストレス・うつ・メンタルヘルス・自殺などを取り上げ、ディベロプメンタル領域ではアセスメント（MBTIなど）を取り上げる予定です。

既に、前年度からの繰り越しとして、12月6日に「メンタルヘルスとアセスメントの理解・実践」というテーマで、足立智昭先生（島根大学准教授、元三菱重工業健康管理室カウンセラー、臨床心理士）と衛藤真子先生（横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター、臨床心理士）に講師をお願いして実施し、24名の方々が参加されました。

さらに、2009年7月または8月（日時は未定）および12月12日にそれぞれ仙台もしくは東京で1回ずつ実施する予定です。東京での研修テーマは前年度に予定されていた「キャリア・カウンセリングとアセスメント」です。また、2010年の2月に予定されている近畿支部の研修会は研修委員会との合同開催とする予定です。

研修委員会の委員（敬称略）は、五十嵐敦、寺田正美、松原達哉、川上範夫、三川俊樹、今野能志です。研修テーマについてのご要望があれば、いつでも委員もしくは事務局にお知らせください。

## 研究委員会

委員長 廣川 進

### 活動と実施スケジュール

#### A) 研究委員会主催シンポジウム

年に4回程度開催する

①春 5月30日（土）か6月6日（土）あたり

テーマ「不況下の就労支援の現場から」

公的就労支援機関（ハローワーク、マザーズ

ハローワーク）、若年就労支援機関（若者サポートステーション）、民間再就職支援会社などさまざまな就労支援の現場で支援をしている方々をシンポジストに、若年、女性、中高年などの失業～転職の現状と求められる支援のあり方についての検討を行う。

#### ②夏 学会企画シンポジウム

8月29日（土）か30日（日）

テーマ：「時代の転換期における産業カウンセリングの緊急課題——新たな生き方働き方を求めて——」

シンポジストは研究委員全員。

研究委員会のメンバー全員のお披露目もかねて、このテーマに関して、自らの現場、研究、実践を踏まえた発表を行う。会員向けアンケート調査（後述）結果の紹介も行い、研究委員会の活動の方向性、方法、テーマなどについてもフロアと検討したい。

③秋 11月あたり テーマ未定 事例検討会的な企画

④冬 3月あたり テーマ未定

#### B) 学会会員へのアンケート調査を企画する

5月質問紙配布～7月回収分析

1999年に行われて（回答数264名、企業177社）以来、行われていないようなので会員数も増加した今、あらためて会員調査を行い、勤務の実情や、研究テーマや必要とする支援など会員のニーズを把握し、今後の研究委員会の活動に役立てる。

C) ～7月

学会誌「産業カウンセリング研究」の近年の論文一覧を作成して、これまでの研究のテーマと方法の傾向を分析する。

#### \*新委員の件

研究委員会の活動をさらに充実させるために、新たに西澤肇氏（三菱東京UFJ銀行キャ

リア相談室長)にご就任いただくことになりました。

## 広報委員会

委員長 古山 善一

役員体制の変更により中断しない会報発行体制づくりをめざす。

### 基本方針

1. 学会報を年4回発行し、学会の活動報告や学会員の意見交換の場とする。
2. 学会の方針や諸活動に関する情報を会員に提供する。
3. 学会活動を社会に発信することを重視する。  
メディアへの情報発信、厚生労働省記者クラブへの投げ込み、記者会見実施、個別媒体への情報提供 全基連雑誌ほか
4. ホームページは事務局と連携して充実を図る。

### 当面する課題

1. 定期発行を目指す。発行月 1月、4月、7月、10月
2. 広報委員を募集して委員会を充実させる。  
広報委員 理事 諸富祥彦、非理事 北沢淳(日経新聞) 佐藤陽(朝日新聞)  
その他募集中

## 社会活動委員会

委員長 堤 貞夫

本年中に企業・組織のマネジメント向けに、「働きかけ」をしてみる。その反応を感じ取りながら、地道に、次々に活動を具体化する。

働きかけるキーワードは、現場管理者の支援の鍵はメンバーの「キャリア開発」支援であり、そのためには「相互信頼」をどのように作れるか、にかかっていることを伝える。

- ①6月 講演会 仮題「現場力を支える人材育成・人材支援」

—キャリア、メンタルヘルス総動員—

- ②第14回大会 企画テーマの中に、この延

長線の内容の展開を図る。

- ③年内または来年初頭に、第2回講演会またはシンポジウムを計画する。
- ④この参加メンバーの中から、企業・組織メンバーとの小グループ勉強会を編成し、継続的に実証的な研究・勉強が出来るようにしたい。

## 地域活性化委員会

委員長 川上 範夫

今期から新しく「地域活性化委員会」が組織されました。

従来から産業カウンセリング学会のあり方として、東京と地方・地域との間のさまざまな意味での交流の活性化と、その一方でそれぞれの地方・地域の可能性と特性を生かした活動の活性化が望まれてきました。

すでに関西地域で近畿支部が組織され、学会中央と連携する形で自立した活動を展開してきていますが、本年度からほかに北海道・東北地区、東海・中京地区、中四国・九州地区で支部活動が立ち上がっていくよう積極的に働きかけ、可能性を摸索していこうと考えています。

## スーパービジョン委員会

委員長 平木 典子

### スーパーバイザー養成講座始まる!

既報の通り、学会はスーパービジョン委員会の責任の下、2月よりスーパーバイザー養成講座を開始しました。書類審査に応募した人は9名でしたが、1月14日の書類審査の結果、応募基準に満ちてない2名を除く7名の面接審査を1月25日に実施しました。

面接では、各自のカウンセリング哲学、理論・技法を中心に、カウンセリング経験、スーパービジョン経験などが確認され、その結果、7名の受講が認められました。

2月21日・22日の初回の講座では、オリエンテーションに続き、参加メンバーによる各自のカウンセリング哲学、理論・技法の紹介を中

心とした自己紹介、次いでカリキュラムの「スーパービジョン概論」の講義が行われました。スタッフ・参加者共々、心を新たにして、緊張と熱意あふれる第一歩を踏み出しました。

応募要項を取り寄せられた方々は28名に上り、関心の大きさが感じられました。来年度以降の予定は追って発表しますが、応募基準をクリアされなかった方たちは、研鑽、実践を積み、今後の参加に備えられることを期待しております。

## 倫理委員会

委員長 森田 一寿

この度、倫理委員会委員長をお引き受けすることになりました。学会の倫理委員会をどのように運営したらよいか不案内ですが、近年、急速に倫理に関する諸問題があらゆる場面で問題視されています。学会としての組織倫理・企業倫理、カウンセラー・研究者としての職業倫理について、いろいろな角度から研究し、倫理綱領の遵守や自己管理責任に関する啓発活動を推

進し、学会として不祥事が起こらないように、いろいろと検討していきたいと思っています。産業カウンセリングに関する研究においても、特に、事例研究におけるプライバシーの問題は重大な問題になり得えますし、カウンセリングの実践においても倫理問題は重要な事項になります。

厚生労働省は「臨床研究に関する倫理指針」(平成20年7月全部改正)で、生命、健康、プライバシー及び尊厳を守ることは、臨床研究に携わる研究者等の責務であると言っています。

産業カウンセリングに関する倫理の領域も大変広く、深いものです。まず、今年度は産業カウンセリングにおける倫理問題や学会の倫理綱領などに関する情報を収集し、その実態を検討し、まとめたいと考えています。会員一人一人が高い倫理感を持ち、倫理的判断力と行動力を高めるためのサポート体制を構築するように努力いたします。ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 2009年度 日本産業カウンセリング学会近畿支部 事業計画

支部長 三川 俊樹

・以下の項目は、2008年度までの事業実績に基づいて作成した仮の事業計画(案)ですので、ご了承願います。

### 2009年度 総会 第1回研修会

日時:2009年6月27日(土)13:30~(予定)

場所:(未定)

プログラム:(予定)

13:30~13:50 総会

14:00~17:15 研修会

17:30~19:00 懇親会

### 2009年度 第2回研修会

日時:2010年2月27日(土)14:00~(予定)

場所:(未定)

プログラム:(予定)

14:00~17:15 研修会

17:30~19:00 懇親会

なお、2010年2月の第2回研修会は、研修委員会との合同開催とする予定。

## 第 80 回常任理事会 議事録

日 時 H20 年 1 月 30 日 (金) 18:15 ~ 19:30  
場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階会議室第 2 会議室 (丸)  
出席者 桐村晋次、木村周、宮城まり子、上脇 貴、川上範夫、今野能志、倉戸ヨシヤ、堤貞夫、平木典子、古山善一、三川俊樹、渡邊祐子  
欠席者 楡木満生、奥津眞里、廣川進、森田一寿、杉忠重

### 1. 審議事項

#### (1) 第 14 回大会について

資料に基づき第 14 回大会実行委員長より平成 21 年 8 月 28 日 (金) ~ 30 (日) の日程で開催されることが報告され、準備委員会のスケジュール等説明があり、了承された。

#### (2) 入会審査規定 (案) について

資料に基づき事務局長より説明があり、各理事より一部文言の訂正・修正について意見が出された。それらを基に今一度案を作成し、次回あらためて審議することとなった。

#### (3) 入会希望者・退会希望者について

資料に基づき事務局長より説明があり、入・退会者について検討を行った結果、一部の入会希望者に確認をとることを条件に承認された。

#### (4) 学会の入出金に関する取り扱い基準案について

資料に基づき事務局長より説明があり、各理事より検討すべき事項について意見が出された。それらを基に今一度案を作成し、次回あらためて審議することとなった。

#### (5) その他

倉戸常任理事が編集委員長を辞任された。

### 2. 報告事項

#### (1) S V 'or 養成講座申込状況と受講者選考状況について

資料に基づき、平木 S V 委員長より S V 'or 養成講座申込状況と受講者選考のプロセス及び外部講師の依頼について報告があった。

#### (2) 日心連報告

事務局長より 12/23 にあった日心連の会議及び心理学検定の検定局員推薦について報告があった。

#### (3) 寄付の拝受について

木村前会長から申し出のあった寄付とその用途について会長より報告があり、用途は次回以降検討することとなった。

#### (4) 産業カウンセリング第 39 回全国研究大会関西大会の協賛について

事務局長より

#### (5) 事務所移転報告

事務局長より標記について報告があった。

#### (6) 各委員会報告

##### ① 研修員会

今野委員長より今後の研修会の概要等の説明・報告があった。

##### ② 社会活動委員会

堤員委員長より今後の活動予定について説明・報告があった。

##### ③ 広報委員会

古山委員長より桐村会長のインタビュー記事について報告があった。

##### ④ 近畿支部

三川常任理事より 2 月 28 日 (土) に研修会を開催することが報告された。

#### (7) その他

第 81 回常任理事会は 3 月 26 日 (木) 18:00 ~ より開催することが確認された。

以上

## 第 81 回常任理事会 議事録

日 時 平成 21 年 3 月 26 日 (木) 18:00 ~ 20:00  
場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス 80 年館 7 階会議室第 2 会議室  
出席者 桐村晋次、楡木満生、宮城まり子、奥津眞里、上脇 貴、川上範夫、今野能志、堤貞夫、平木典子、廣川進、古山善一、杉忠重、渡邊祐子  
欠席者 三川俊樹、森田一寿

## 1. 審議事項

### (1) 第14回大会について

### (2) 編集委員長選任について

会長より森田常任理事の編集委員長就任について説明があり了承された。

### (3) H21年度委員会活動計画について

事務局長より平成20年の収支速報が説明された後、各委員長より活動計画と予算の説明があり、了承された。

#### 総務委員会

当学会のNPO法人化の必要性と諸手続きについて説明があった。併せて、NPO法人化に伴う支部のあり方についての意見交換が行われた。

#### 研修委員会

研修会の開催予定とそれに伴う予算について説明があった。

#### 研究委員会

シンポジウム・会員対象アンケート調査等の活動計画と予算について説明があった。

#### 編集委員会

桐村会長より説明があった。

#### 広報委員会

広報委員会の基本方針と予算について説明があった。併せて、委員会委員の資格について意見交換が行われ、会員は委員として活動いただけることが確認された。

#### 社会活動委員会

シンポジウム等の開催や小グループでの研究会の立ち上げと予算について説明があった。

#### 地域活動委員会

支部設立に向けた活動計画と予算の説明の後、他の委員会や大会との協同について意見交換を行った。

#### SV委員会

SV講座の実施と委員会開催について説明があった。併せて、今年度の講座の実施状況と今後の予定について説明があった。

#### 倫理委員会

事前に送付されてきた倫理委員会の活動計画が説明された。

#### 近畿支部

事前に送付されてきた近畿支部の活動計画が説明された。また、2月末実施の研修会について説明された。

### (4) 入会希望者・退会希望者について

入会希望者の審議結果は、承認された者11名、資格を確認する者2名であった。

### (5) 入出金に関する取り扱い基準(案)について

資料に基づき上脇事務局長より説明があり、特に研修会の運営規程における参加費・謝金の幅等について審議され、決定された。

### (6) 入会審査規定(案)について

審議継続となった。

### (7) その他

第80回常任理事会議事録記載内容が承認された。

## 2. 報告事項

### (1) スーパーバイザー養成講座開講状況

### (2) 近畿支部研修会報告

次回に順延された。

### (3) 会費未納者への督促結果

### (4) H20年度収支速報

### (5) 産業事業への協賛について

今後の日本産業カウンセラー協会からの協賛等の依頼には原則協賛を会長と事務局長とで協議後回答し、結果を常任理事会に事後報告とすることが了承された。

### (6) 臨床心理職国家資格推進連絡協議会について

協議会への参加のあり方について意見交換を行った。

### (7) 職場のメンタルヘルス関連学会連絡会議報告

宮城副会長より第1回連絡会議の概要と当会がH22年2月の開催準備委員になったとの報告があった。

### (8) その他

事務局長より会員の取材記事が紹介された。

第82回以降のH21年度常任理事会の日程が以下のとおりとなった。

第82回 5/23 18:00～

第83回 7/24 18:30～

第84回 9/25 18:30～

第85回 11/27 18:30～

第86回 1/29 18:30～

第87回 3/26 18:30～

## 街かど短信

ボランティア特派員を募集しています。あなたも会報づくりに参加しませんか。

**群馬** 私が役員をしている会社は薄肉加工を得意とし、主に自動車部品や精密機械部品の加工・製造をしています。現在世界的不況の代表的業種であり、受注も大幅に減少しています。この不況の中、当社では“企業は人なり”をモットーに、人材育成強化のため教育訓練を行っています。今までマスターでできなかった基本的な知識・技術をしっかり自分のものにしようと、皆真剣な眼差しで訓練に臨んでいます。  
(岡田美智子)

**埼玉** -ある契約社員の声-

通信業の企業にて契約社員として就労中。景気動向の影響を受けやすい製造業と比べると、今のところ売上や契約の大幅な減少はない。  
ただ、社内資料のカラーコピー禁止・空調設備の使用時間短縮など、様々なコストカットは昨年末から実施されている。  
自分も雇用形態が有期雇用であるだけに、常に危機感は拭い去れない。  
(宮崎圭子)

**徳島** 中小企業の多い地方都市では、不況が続く中、経営悪化で経営者が抑うつ状態になったり、体調不良になった社員が退職に追い込まれる場合もあり、メンタルヘルス対策が急がれる。予算もマンパワーも少ない現場で、費用をかけずに出来る対策として、産業保健推進センター等の公的資源を周知し、利用を薦めることも重要であろう。そして、朝の挨拶から始まるコミュニケーションを見直すことも、無料で出来る予防対策であろう。お互いに顔を見て交わす挨拶の声や顔色、表情や態度は、健康のバロメーターにもなり、状態変化の早期発見にも繋がる。厳しい時代だからこそ、Face To Faceのコミュニケーションを見直し、目配り、心配りしつつ、声掛け合い、励ましあって、厳しい時代を乗り切っていきたい。  
(川上晃代)

**東京** スーパービジョン養成講座を受講中の今

産業カウンセラー養成講座に関わって10年、何かこれでいいのかなと、いま少し自分の学びがほしかった。この講座に出会った。時とおカネのタイミングも良かった。各証明書の手入や応募の書類の多さ、過去の研修実績など、まるでカウンセリングの自分史をたどる思いも大変だった。受講動機や自己カウンセリングの哲学、スーパーバイザーの哲学なる小論文はもう“うう～ん”と唸るばかり。面接では、部屋に入ると7人の大先生がズラリと並ぶ。一瞬、電撃が走るというようなそんな感覚で20～30分の応答、いやはやあ…。

2/21より開始、3日間の講義を終え今は充電中。次は5月連休の3日間、その後は演習いっぱい。まな板の鯉の心境。ともかく学べるチャンスが得られたのはとてもうれしい。

(菅野由喜子)



# 新入会・退会状況

平成 21 年 1 月 30 日現在											
入会者 (15 名)						退会者 (9 名)					
佐藤 徹次	さとう	てつじ	鳥海 孝夫	とりうみ	たかお	浦部 洋一	うらべ	よういち	安田 隆史	やすだ	たかし
吉江 昭子	よしえ	あきこ	七條 芳男	しちじょう	よしお	本多 慶吉	ほんだ	けいきち			
伊藤 典一	いとう	のりいち	中西 勲	なかにし	いさお	原田 由香	はらだ	ゆか			
小林 巖	こばやし	いわお	榮 俊哉	さかえ	としや	多胡 康彦	たご	やすひこ			
鳥影 義和	しまかげ	よしかず	山口 友美	やまぐち	ともみ	川端 和子	かわばた	かずこ			
三尾 眞由美	みお	まゆみ	天野 賢	あまの	まさる	畑中 美紀	はたなか	みき			
横山 美枝子	よこやま	みえこ	前田 清賢	まえだ	せいけん	福留 一徳	ふくとめ	かずのり			
平 和 俊	たいら	かずとし				尾崎 泰子	おざき	やすこ			

平成 21 年 3 月 26 日現在											
入会者 (15 名)						退会者 (38 名)					
土屋 州生	つちや	くにお	堀川 満香子	ほりかわ	みかこ	大友 輝美	おおとも	てるみ	小松 和美	こまつ	かずみ
後藤 雅司	ごとう	まさし	秋田 美恵子	あきた	みえこ	江成 健一	えなり	けんいち	高橋 寛之	たかはし	ひろゆき
佐藤 加代子	さとう	かよこ	高橋 貞夫	たかはし	さだお	江成 真理子	えなり	まりこ	野田 トミエ	のた	とみえ
有田 智子	ありた	ともこ	堤 晴子	つづみ	せいこ	繁田 千恵	しげた	ちえ	岩間 博史	いわま	ひろし
奥 憲 太	おく	けんた	三神 正和	みかみ	まさかず	中島 順子	なかじま	のりこ	村上 尚美	むらかみ	なおみ
大倉 猛	おおくら	たけし	高村 雅美	たかむら	まさみ	江村 正記	えむら	まさのり	小野 瑠美子	おの	るみこ
興津 雅	おきつ	みやび	五島 史行	ごとう	ふみゆき	角 隆志	すみ	たかし	今林 千寿子	いまばやし	ちずこ
佐藤 和夫	さとう	かずお	佐藤 允	さとう	まこと	金子 章予	かねこ	あきよ	後藤 浩子	ごとう	ひろこ
矢吹 孝彦	やぶき	たかひこ	阿部 洋子	あべ	ひろこ	松井 知子	まつい	ともこ			
田中 小百合	たなか	さゆり	安藤 和枝	あんどう	かずえ	本山 晶子	もとやま	せいこ			
村久保 雅孝	むらくぼ	まさたか	安田 忠弘	やすだ	ただひろ	勝田 正	かつた	ただし			
山田 保枝	やまだ	やすえ	伊藤 奈美	いとう	なみ	長谷川 武志	はせがわ	たけし			
永島 弥生	ながしま	やよい	植松 恵水子	うえまつ	えみこ	下 勉	しも	つとむ			
高橋 伸子	たかはし	のぶこ	村田 なぎさ	むらた	なぎさ	坂東 恵子	ばんどう	けいこ			
加藤 智子	かとう	ともこ	池田 祥太郎	いけだ	しょうたろう	横山 幸子	よこやま	さちこ			

## 「JAIC ニュースレター」登録/変更/削除方法

学会会員の皆様に、学会ホームページが更新される都度、即時にその内容をメールにてお知らせするサービスをしています。

学会のホームページを見ながら、「JAIC ニュースレター」への登録作業を行っていただくようお願いいたします。

- ① 日本産業コンサルティング学会のホームページ <http://www.jaic.jp/> を開きます。
- ② ホームページのトップページの上部ツールバーの会員ページをクリックします。
- ③ 会員ページはパスワードが必要となります。と記されたページが出ますので、パスワードと記された空欄に jaic と入力し、OK をクリックすると画面が会員ページとなります。
- ④ 「JAIC ニュースレター」のご登録/配信アドレス変更/配信停止をクリックすると、ID とパスワードを入力する画面が現れます。
- ⑤ ID に jaicmember、とパスワードに 200804 をそれぞれ入力し OK をクリックします。

- ⑥ 「JAIC ニュースレター」登録/変更/削除ページとなりますので、該当する項目を選び、所定の内容を入力後、読者登録をクリックします。以上で、登録完了です。

## 「ニュースレター」でメールマガジンを配信します。

学会会員の皆様に、学会ホームページが更新される都度、即時にその内容をメールにてお知らせするサービスをしています。

例えば本号では、日程が確定していない各委員会の行事(研究会・研修会・シンポジウム等)が数多くありますが、決まり次第このメールマガジンでお伝えします。

なお、ご投稿やご意見等がございましたら、学会ホームページのメールアドレスをクリックしていただけると、投稿用フォームが立ち上がりますので、ご利用ください。

次号は7月中旬発行予定です